

令和8年2月13日
高知県公立大学法人高知県立大学

大学が所有する財産の不適切な取扱いについて

このたび、本学が所有する財産（漆芸作品）の管理を適切に行っていなかったことが明らかとなりました。

再発防止と信頼回復の第一歩としまして、きちんと事案を公表することが必要であると考え、県とも調整を行い、本日2月13日に県と共同で記者会見を開催いたしました。その概要は以下のとおりです。

1. 該当の漆芸作品

- ・作者 吉田左源二 氏
- ・作品名「不明」
- ・縦横それぞれ約2メートルの漆芸作品で、旧高知女子大学図書館1階ロビーに展示していた

2. 経緯と概要

- ・作品は図書館1階ロビーの壁と一体的な形で設置されていた
- ・令和7年末、外部の方から当該作品の現在の所在に関する問い合わせがあり、事務局で調査したところ、当該作品が展示されている壁の前に、新たに多目的トイレが設置され、作品が完全に隠されている状態となっていることが判明
- ・この多目的トイレは、平成23年度の公立大学法人化後、永国寺キャンパス整備の平成29年度工事分として、大学に出資することを前提に、県が旧図書館を学生会館へと改修する際に設置されたもの
- ・作品は建物の壁とトイレの壁の間にあり、簡易的に確認した限りでは、状態としては問題がないと思われる

3. 今後の対応

- ・記者会見を行うにあたり、事前に遺族の方には謝罪と今後の対応方針をご説明し、ご理解を得ている
- ・今後は、専門家の意見を聞きながら、作品を閲覧できるよう多目的トイレの撤去等を検討し、適切な方法で工事を実施する予定
- ・作品の状態の確認とともに、移設の可能性についても、建築面や作品の安全な取り外しが可能か等、様々な視点で情報を収集し、検討
- ・作品が閲覧可能な状態になった際には、作者名、作者の紹介、作品解説などを新たに作成し、作品に並べて表示し、作品と作者への理解も深めていただく予定

お問い合わせ先
高知県立大学（池キャンパス）
事務局 溝渕、井上
TEL: (088) 847-8700

〈学長コメント〉

本学の前身である高知女子大学当時の図書館に、本県を代表する著名な漆芸作家である吉田左源二氏に作成していただいた作品が展示されておりましたが、高知県公立大学法人化後の平成29年度の永国寺キャンパス整備の際、作品が展示されている壁の前に、新たに多目的トイレを設置し、現在、鑑賞できない状態にあることが、この度判明いたしました。

こうした取り扱いは、何よりも芸術作品に対する敬意を著しく欠くものであり、また学生や来学された方々などの貴重な作品を見る機会を奪うものもあります。

このような事態が生じておりましたことに、ご遺族をはじめ皆様に深くお詫び申し上げます。

大学としましては、この事態を真摯に重く受け止めるとともに、こうした事案が二度と発生しないよう、「過去の事案」「他人事」とならないよう教職員一人一人の意識改革を促し、大学全体で向き合うことで、再発防止や信頼回復に繋げてまいります。

令和8年2月13日

高知県公立大学法人高知県立大学
学長 甲田 茂樹